

## 習志野市空家等対策計画(第3期)の策定方針

### 1. 計画の策定経過

- ①平成26年 空家等対策の推進に関する特別措置法 成立
- ②平成29年3月 習志野市空家等対策計画策定
- ③令和4年3月 習志野市空家等対策計画(第2期)策定
- ④令和5年12月 空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律 施行

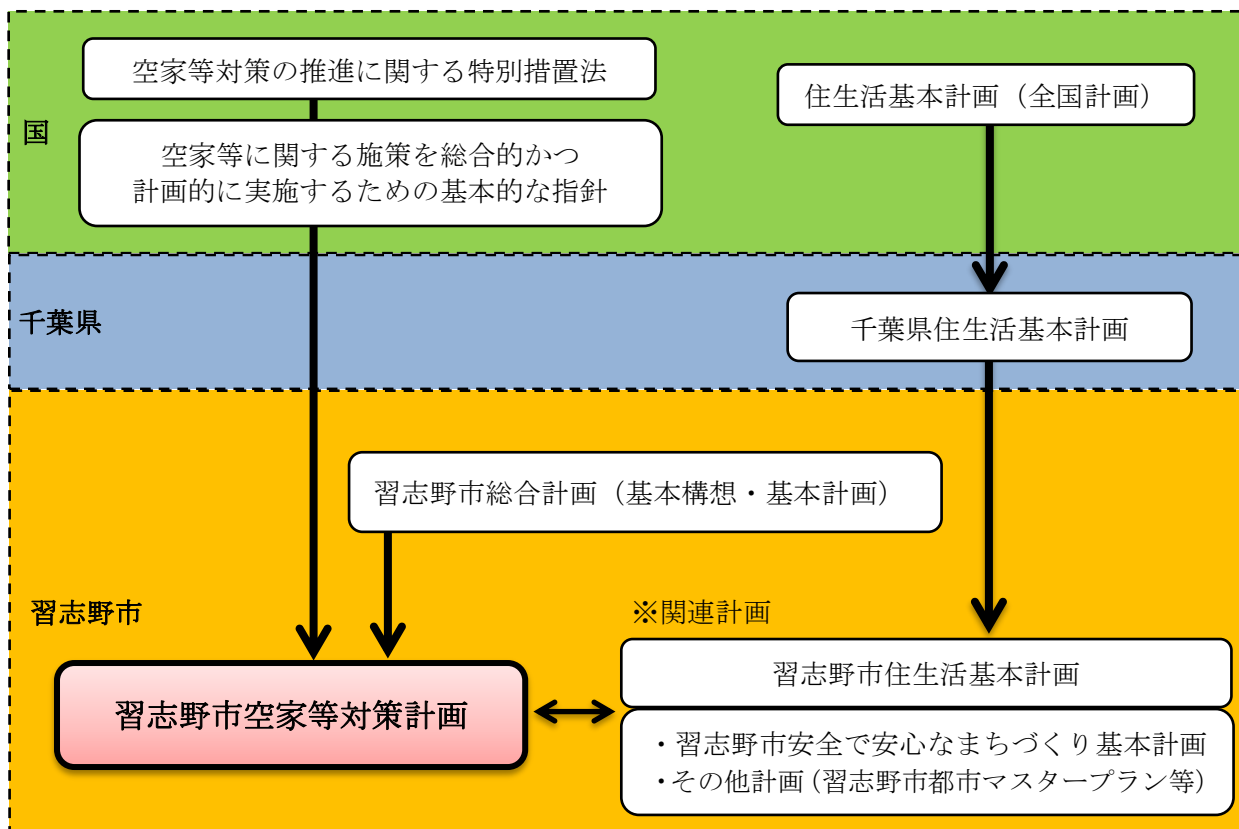
### 2. 次期計画の策定について

本計画は、空家等対策の推進に関する特別措置法第7条の規定に基づき、空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するため策定するものです。

習志野市空家等対策計画(第2期)が令和8年3月で終了することに伴い、次期計画を策定します。

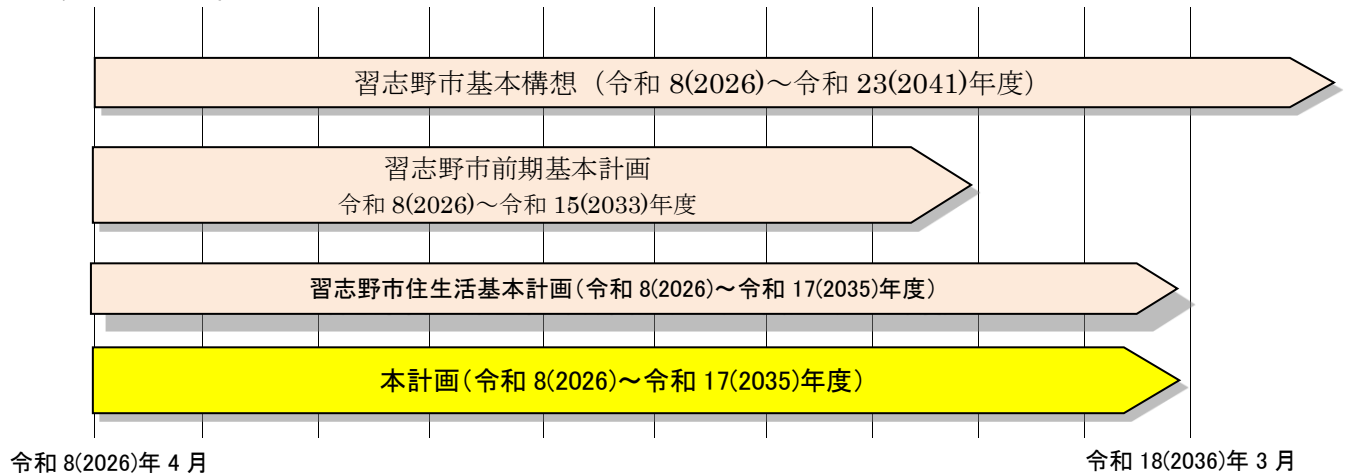
本市の「習志野市総合計画(基本構想・基本計画)」及び「習志野市住生活基本計画」に即して策定するとともに、各種計画と連携・整合を図ります。

(計画の相関図)



### 3. 計画期間

住宅施策に係る習志野市住生活基本計画と合わせ、計画期間を令和8(2026)年度から令和17(2035)年度までの10年間とします。ただし、社会情勢の変化や国・県の動向、上位計画の改定等により、適宜見直しを行うものとします。



### 4. 計画策定の手法

現状に即した計画を策定するため、以下を実施します。

#### (1) 市民等の意見の反映

市民等の意見を反映した計画とするため以下を実施します。

- ① 空家等対策協議会による協議
- ② パブリックコメントの実施

#### (2) 空家等実態調査の実施

市内の空家等の実態を把握し、今後の空家等対策の基礎資料を得ることを目的に「空家等実態調査」を実施します。

#### (3) 体制

庁内の関係部署や団体と連携し、調査・ヒアリング等を実施します。

### 5. 計画の内容

現計画の内容を基本として、令和5年住宅土地統計調査及び空家等実態調査を踏まえ、令和5年度法改正の反映、これからの課題等の整理を行います。

### 6. 次期計画の基本方針（施策体系図）について（資料3）

現計画の3つの基本方針を踏襲し、引き続き空家等対策を推進していきます。

また、基本方針のうち基本方針Ⅲ「安全・安心に暮らせるまちを実現するため「管理不全状態の解消」を促進します。」の取り組みについて、「(4) 国の制度を活用した対策」を追加し、解決困難となっている空家等の解消を推進します。